

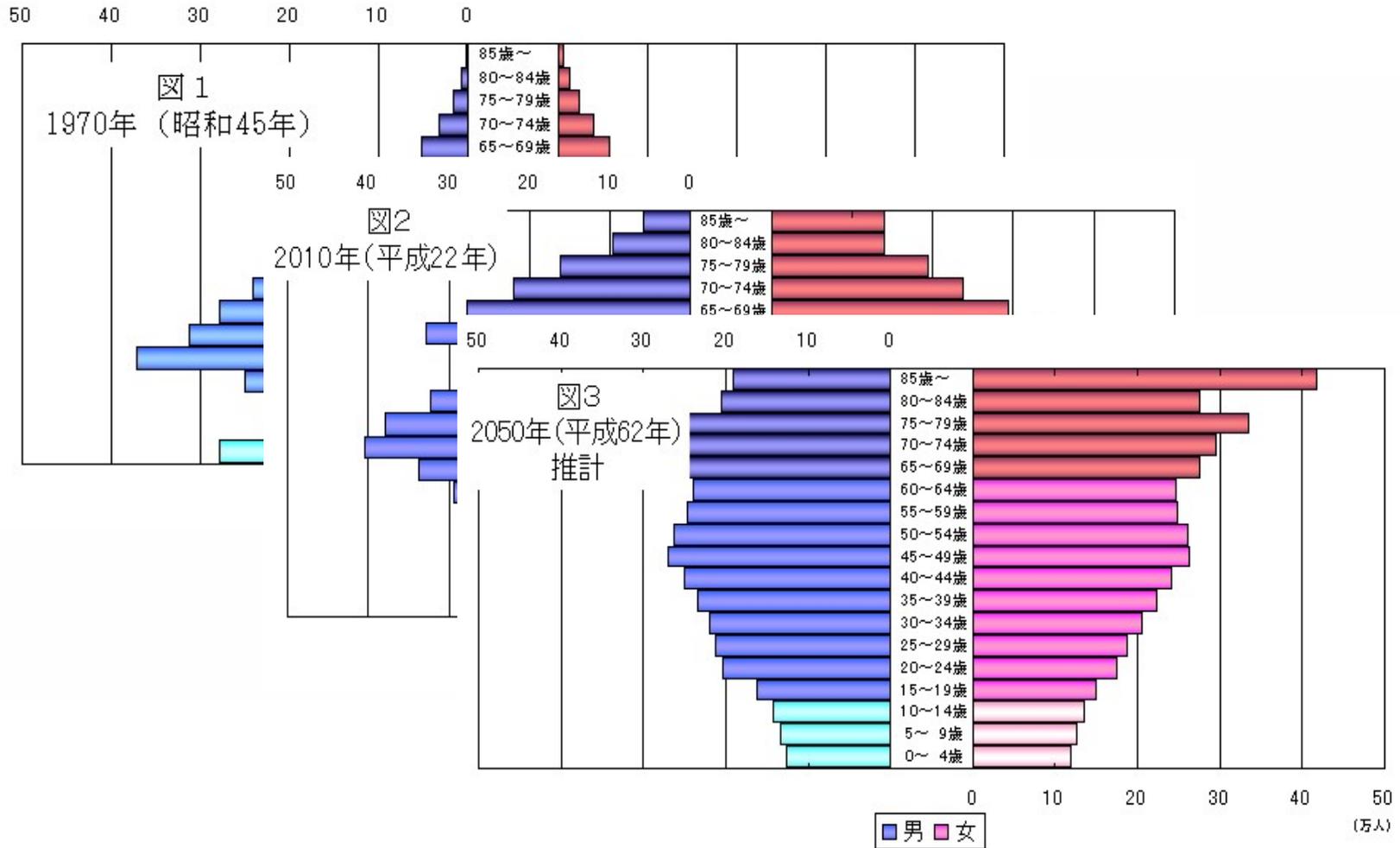
# 神奈川県パイロット事業



介護現場革新会議資料

令和元年6月6日

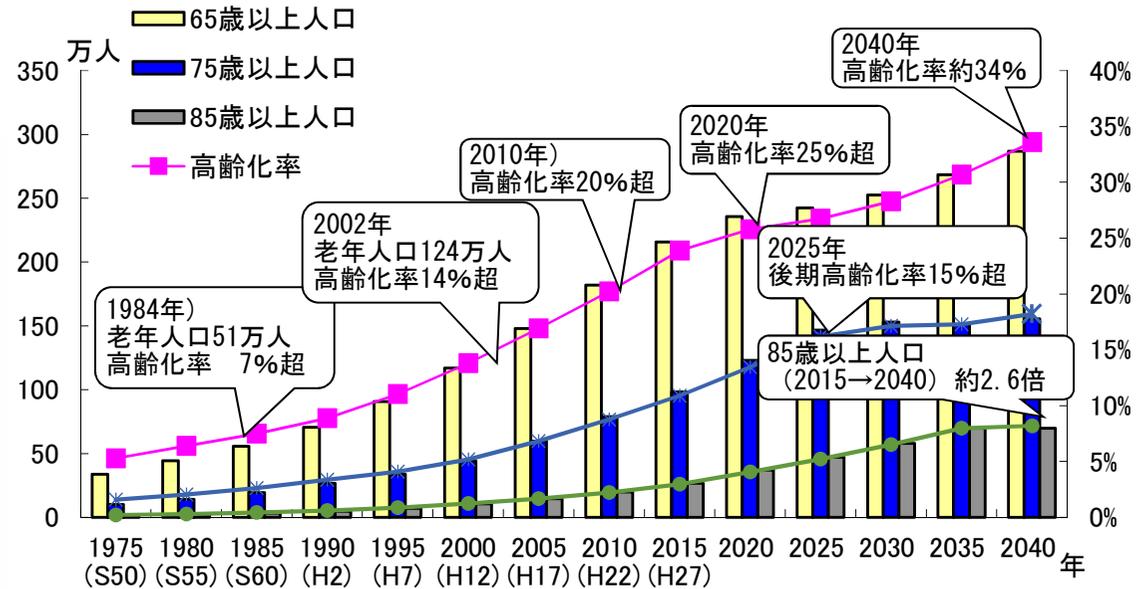






神奈川県の人口は、  
2019年には約919万人

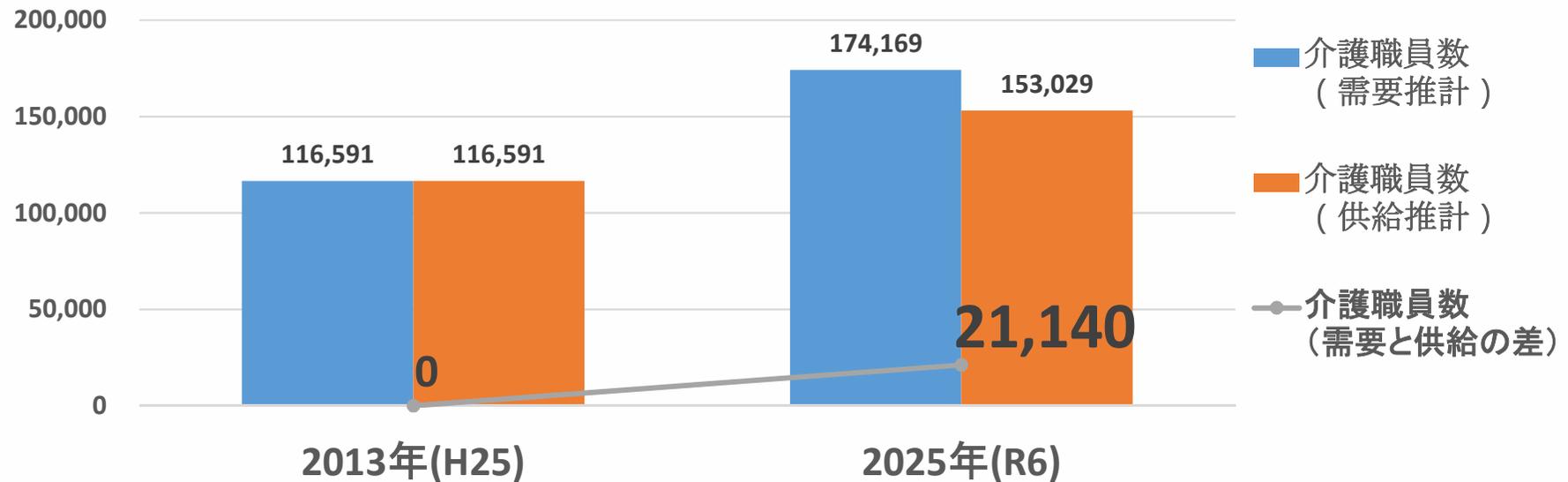
高齢化率は、2040年には  
約**34%**の予測



年 区分	1975	2005	2010	2015 (a)	2020	2025	2040 (b)	増減数 (b-a=c)	増減率 (c/a)
	総人口	6,398	8,792	9,048	9,126	9,141	9,070		
65歳以上	337	1,480	1,820	2,158	2,356	2,424	2,868	710	32.9%
15～64歳	4,425	6,088	5,989	5,744	5,693	5,618	4,757	△988	△17.2%
0～14歳	1,632	1,185	1,188	1,141	1,092	1,028	917	△224	△19.6%

※グラフ・表は、かながわ高齢者保健福祉計画(2018～2020年度)から抜粋

団塊の世代が75歳以上となる**2025年**には、  
何の策も講じなければ、県内で**約2万1千人**の  
介護人材が不足する見込み



神奈川県では、必要な人が安心して介護を受けられるよう、

**多様な人材の確保**

**資質の向上**

**労働環境等の改善**

の3つの柱で、介護人材の養成・確保を推進



# 神奈川県の特徴的な 介護人材確保戦略



本県では、黒岩知事のリーダーシップのもと、「いのち輝く神奈川」の実現を目指して、特徴的な施策を発信してきた。

介護ロボット  
開発・導入支援

さがみロボット産業特区での**ロボット実用化**

介護ロボット**公開事業所**

介護職員の  
負担軽減

ロボットスーツHALを**100台導入**

神奈川**らくらく介護宣言**

介護の質の向上

かながわ**ベスト介護セレクト20**

優良介護サービス事業所「**かながわ認証**」

介護のイメージアップ

かながわ**感動介護大賞**



## ■ 「さがみロボット産業特区」でのロボット実用化！

国の総合特区制度を活用し、生活支援ロボットの実用化や普及を推進

### ■ 主な特徴

#### ○ 徹底した出口戦略

- ・ 実際の使用現場で利用者による実証
- ・ ニーズに応じた開発

#### ○ 開かれた「場」の提供

- ・ 実証実験の全国公募
- ・ プレ実証の場所も無償で提供

### ■ これまでの成果（H25～H30.2）

- ・ 実証実験数：**232件**
- ・ 商品化件数：**20件**

### ■ 商品化した主な介護ロボット等

パルロ



パワーアシスト  
ハンド



パワーアシスト  
レッグ



服薬支援ロボ



ロボット体験キャラバン



ロボットモニター制度



## ■ 介護ロボット公開事業所（3施設）

特別養護老人ホーム芙蓉苑  
（横浜市港南区）



介護老人保健施設アゼリア  
（海老名市）



長田病院  
（横浜市港南区）



## ■ 「ロボットスーツHAL」の導入



サイバーダイン社と覚書締結  
県内30施設に  
HAL 100台を試験導入



## ■ 神奈川らしく介護宣言

介護・看護職員の負担軽減や利用者・患者に質の高いケアを提供するため、「人の力のみで抱え上げない介護・看護」を推進



### 1 知ろう!

「神奈川らしく介護宣言」の理念の普及を図ります。

### 2 使おう!

介護ロボット・機器の導入を推進します。

### 3 学ぼう!

人の力のみで抱え上げない介護・看護技術を普及します。





## ■ かながわベスト介護セレクト20

介護に頑張る事業所を応援するため、介護サービスの質の向上や人材育成、処遇改善等に顕著な成果をあげた事業所を表彰し**奨励金（1事業所100万円）を交付**



## ■ 優良介護サービス事業所 「かながわ認証」

介護サービスの質の向上や人材育成、処遇改善等の一定の水準を満たしている事業所に**認証書を交付**



	合計
認証事業所数	152

【平成31年3月末時点】

## ■ かながわ感動介護大賞

介護職員がやりがいと誇りをもって仕事ができ、介護の仕事の魅力をアピールするため、利用者や家族から、介護にまつわる感動的なエピソードを募集し、応募者や対象となる介護職員・施設を表彰。



【「介護フェアinかながわ」での表彰式】



# 神奈川県版パイロット事業 における重点的な取組

## 【めざす姿】

神奈川県は、「いのち輝くかながわ」の実現に向け、  
超高齢社会を乗り越えるため、食・運動・社会参加による「**未病の改善**」と  
「**最先端医療と最新技術の追求**」の二つのアプローチから健康寿命の延伸を  
目指しています。

高齢になっても**笑って元気に生き生き**と暮らせる社会の実現には、  
**要介護者自身のQOL（生活の質）の維持・向上**を目指す支援が行われるよう、  
**介護の負担軽減・質の向上・イメージアップ**が喫緊の課題です。

## 【事業内容】

### 1 負担軽減・質の向上

- (1) 施設でのロボット・ICT 実証実験・開発
- (2) コーチングアプリを活用した 研修の実践
- (3) 大学と連携した 音楽活動のマニュアル化

### 2 市町村支援にAIを導入

AIを活用したケアプラン点検

### 3 イメージアップの取組

かながわ感動介護大賞による啓発



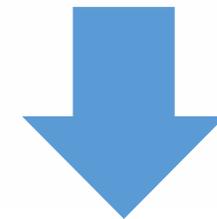
# 1. 負担軽減・質の向上

## ■ 軽減余地のある業務

時間帯	業務名	実施者		ロボット等による軽減
		介護	助手	
夜間	見守り居室巡視	○		◎
	起床・臥床介助	○		○
起床 就寝	着替え介助	○		○
	トイレ洗面所・誘導	○		○
	移乗	○		○
食事	誘導・移動	○		○
	配膳	○		
	食事介助	○		
	下膳		○	
入浴	服薬管理	○		
	入浴準備		○	
日中	入浴介助	○		○
	洗濯		○	
	バイタルチェック	○		○
	レクリエーション	○		
随時	口腔ケア	○		
	ベッドメイク		○	
	おむつパッド交換	○		
その他	コール対応	○		◎
	介護記録・カルテ	○		◎
	引継ぎ	○		◎
	休憩	○		
	その他	○		

**介護職員の  
専門業務だが  
軽減余地あり**

- 記録系
- 見守り系
- 移乗系
- 排泄系



**現場ヒアリング  
を実施**

## ■ 現場ヒアリングの実施結果

## 記録

(特養・訪問介護)

- 課題
  - ・ 手間、時間がかかっている
- 普及していない理由
  - ・ 切り替えのタイミングがない
  - ・ 費用対効果が分からない
  - ・ 種類が多く選択できない
  - ・ 操作が複雑 ・ 職員の拒否感

## 見守り

(特養・老健)

- 課題
  - ・ 夜勤の負担感が強い
  - ・ 夜間ケアは入所者にとっても負担
- 普及していない理由
  - ・ 機器をどこまで信用してよいか不安
  - ・ 既存ベッドで利用できない場合ある
  - ・ 使い勝手が悪いイメージがある

## 移乗

(特養)

- 課題
  - ・ 重介護による腰痛
  - ・ 機器が継続使用されていない
- 普及していない理由
  - ・ 装着の手間がかかる
  - ・ 移乗以外の作業がしづらい
  - ・ 価格が高い

## 排泄

(グループホーム)

- 課題
  - ・ 排泄のタイミングが予測しづらい
  - ・ シーツ交換等の介護負担が大きく、利用者の睡眠を妨げる
- 普及していない理由
  - ・ 機器の種類や性能、効果がわからない
  - ・ 体に直接装着するため違和感のおそれ

# 1. 負担軽減・質の向上

## ■ 介護現場の実態に合わせた機器を導入

### 記録

(特養・訪問介護)

- ➡ 記録のデジタル化・一元化  
及びタブレット等の導入による  
記録ソフトの効率的な活用

(株)ロジック 『Care-wing 介護の翼』



NDソフトウェア(株) 『ほのぼの』

### 見守り

(特養・老健)

- ➡ 見える化 (バイタルチェック、  
眠りを解析) されることで  
スタッフの精神的負担を軽減
- ➡ 生活に合わせた介護の提供

パラマウントベッド(株) 『眠りSCAN』



# 1. 負担軽減・質の向上

## ■ 介護現場の実態に合わせた機器を導入

### 移 乗

(特養)

- ☞ バッテリーを必要としない  
軽量型で、違和感なく装着でき、  
身体的負担が軽減

(株)加地『レイボ』



### 排 泄

(グループホーム)

- ☞ 数値で表示、通知することで**適切なタイミング**でのトイレ誘導が可能
- ☞ タイミングを計測・分析することで、**ケアの見直しに寄与**

トリプル・ダブリュー・ジャパン(株)『D Free』



## ■ 介護現場の実態に合わせた**ソフトウェア開発**を協働実施

特別養護老人ホームのヒアリングでは

### 記録に

- ・ 手間、時間がかかっている

記録システムを導入するには

- ・ 切り替えのタイミングがない
- ・ 費用対効果が分からない・・・



- ・ 介護記録ソフトは導入したが、**複雑で分かりづらい**
- ・ 独自の記録様式にあわない
- ・ 見守りシステム等と互換性がない

施設・行政の課題や希望に合致したソフト開発に向けて

- ① 開発に協力する**施設とソフトウェア会社をマッチング**
- ② **施設の課題や希望を把握、行政側の意見をソフトに反映**
- ③ 現行の訪問介護・看護用記録システムをアレンジし、**実証実験**

簡単な操作で、

その場で入力可能な**介護記録ソフト**を

👉 **ソフトウェア会社、介護保険施設、行政3者の協働で開発し、デジタル化による記録の負担軽減を加速**



(株)ロジック 『Care-wing 介護の翼』



# 1. 負担軽減・質の向上

## ■ 導入効果の検証・全県展開

### ロボット・ICT導入

特別養護老人ホーム	➤ 記録・見守り・移乗
介護老人保健施設	➤ 見守り
グループホーム	➤ 排泄
訪問介護	➤ 記録

### 効果検証

#### 【総労働時間の減少、費用対効果】

総労働時間の減少、機器導入経費の費用対効果など、導入効果を評価・検証

#### 【介護職員の負担軽減、利用者満足度】

介護職員、利用者へのアンケート等を実施

神奈川県介護現場革新会議（仮称）により取組結果の評価

セミナー開催

導入支援（補助）

ロボット・ICTの県内事業所への導入拡大へ

## ■ コーチングアプリを活用した研修の効率化

### 現状課題

シフトや勤務時間の異なる職員間での介護技術の共有機会が少ないため、施設内でのノウハウの伝承が困難  
 → **職員の介護技術にばらつき**が生じている

### 導入手法

#### アプリを活用した職員研修

- ・ 経験の浅い職員の介護場面を撮影し、ベテラン職員が指導（動画上に指導内容を声と字で入力）
- ・ ベテラン職員の動作を指導用動画として撮影し自らと比較することで、介護技術を共有
- ・ 研修時間を設けなくても、隙間時間で確認



(株)エクサウィザーズ 『リモートコーチング アプリケーション』

### 効果

自分の介護技術力への「気づき」を促す  
 効率的に介護技術の底上げが可能  
 → **利用者の快適な介護に繋がる**

# 1. 負担軽減・質の向上

## ■ 大学と連携した音楽活動のマニュアル化

### 現状課題

音楽活動は心身機能の維持・向上に役立つと研究されており、多くの高齢者施設は何らかの音楽活動を実施  
→最大限の効果を出すにはノウハウが足りない

### 導入手法

#### 昭和音楽大学※との協働事業による「音楽活動サポートかながわモデル」の作成

- ・ 音楽活動に関する課題やニーズを調査
- ・ 活動手法のマニュアルを策定
- ・ 研修、音楽療法士の施設訪問、動画配信による支援
- ・ シンポジウムを開催して成果を報告

※日本音楽療法学会認定音楽療法士養成校



高齢者施設での活動例  
(日本音楽療法学会  
パンフレット)より)

### 効果

効果的な音楽活動を提供することが可能

→利用者のQOLや心身機能の維持・改善が期待できる

## ■ A I を活用したケアプラン点検の試行

### 現状課題

ケアプランは、ケアマネジャーの経験の蓄積によるところが大きく、ケアマネジャーによって技術に差がある。  
市町村は、ケアプランの体系的な蓄積ができていない。  
→ 自立支援・重度化防止の観点が不足しがち

### 導入手法

#### A I を活用したケアプラン点検

- 市町村のケアプラン点検において、AIが自立支援の観点から提示するケアプランと、ケアマネジャーのケアプランの将来予測を比較・検討

※AIは個別性に合ったケアプランの調整ができない



(株)シーデーアイ CDI Platform MAIA

### 効果

A I により経験を補完  
ケアマネジャーの「気づき」を促し、レベルアップを図る  
→ 利用者にとってより良いケアプランを提供



# 3. イメージアップの取組

## ■ かながわ感動介護大賞による啓発

感動介護大賞

ドキュメンタリー番組の  
テレビ放映

ありがとう  
カード

介護フェアでの表彰式



作品集の配布



DVDを作成し、研修  
や授業の教材に



感謝の気持ちを  
伝える運動を展開



SNSで発信

## 負担軽減・質の向上

## 施設＝生産性向上

- 専門業務に特化
- 総労働時間の減少
- 生み出した時間を支援の充実に

## 職員＝負担軽減

- らくらく介護
- 健康維持、身体的・精神的負担の軽減
- スキルアップ
- 就業継続・定着へ

利用者＝  
質の高い介護

- QOLの向上
- 自立度、ニーズ・生活習慣に合ったサービス提供
- 安心安全で快適な介護



市町村支援にAIを導入

イメージアップの取組

笑顔あふれる介護現場



No.	構成員
施設代表	神奈川県高齢者福祉施設協議会
	神奈川県老人保健施設協会
	神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会
医療関係者	神奈川県医師会
既導入施設	神奈川県介護ロボット公開事業所
事業実施施設	特別養護老人ホーム 介護老人保健施設 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）等
有識者	介護保険制度関係の有識者
行政	神奈川県
	横須賀市